

参考資料3

フラッグフットボールの教育的意義について

(日本フラッグフットボール協会 高橋 健夫)

鬼遊びの延長！誰でも楽しめるボール運動

フラッグフットボールはゴール型に属しますが、さらにその中の「陣取り型 (territory)」のボール運動です。ゴール型のボール運動は、戦術的にもっとも複雑で難しい課題がありますが、それだけにボール運動の醍醐味を味わうことができます。しかし、戦術的な難しさの上に技能的な難しさが加われば、子どもたちにとっては学習が大変困難になり、ゲームの楽しさにほとんど触れられない者が数多く生じてしまいます。その点で、フラッグフットボールはボールを持って走ることができるわけですから、鬼遊びの延長線上で誰でも容易に楽しむことができます。

鬼遊びに興じる子どもたちの姿を写真に撮ってみると、どの子も素晴らしくよい動きをしています。膝が柔らかく曲がり、次の動きに自在に対応できるようになっています。それぞれの子どもが役割を持ち、自らの状況判断のもとで俊敏に動くようしているためです。ところが、ボール運動になるとそれぞれの子どもの役割が不明確になり、ボールを持っていない者は膝を伸ばして突っ立った状態になりがちです。フラッグフットボールは、技能的課題がやさしい上に、みんなが役割を担うため、鬼遊びと同じように、素晴らしい動きができるのです。

作戦が生きる

フラッグフットボールはボールを持って走ることができるため、バスケットボールやサッカーよりもボール操作の技能はやさしくなります。技能的にやさしければやさしいほど、戦術的な学習課題がクローズアップさせることができます。しかも、フラッグフットボールは、戦術や作戦なしにゲームが成立しないといっても過言ではありません。実際、フラッグフットボールでは、攻撃のたびにハドル（作戦会議）を持ちます。ハドルで作戦を立て、それぞれの役割行動を決定します。その作戦に従ってゲームを実行し、うまくいったのかどうか直ちにフィードバックされます。攻撃のたびにPlan-Do-Seeのサイクルが成り立つのです。このことは、フラッグフットボールが戦術学習に最高の機会を提供する教材であることを教えています。

フラッグフットボールで学習した状況判断やサポートの動きは、他のゴール型のゲームにも確実に転移することが証明されています。このようなことからフラッグフットボールは、「ボール運動学習の原点」となるべき要素が含まれています。

発達段階や能力段階に応じて様々な工夫ができ、集団での喜びを感じられる

フラッグフットボールに関わって多くのやさしいゲームが開発されてきました。「しっぽ (フラッグ) 取り鬼遊び」「宝運び鬼 (インベーダーゲーム)」「ワンボックス・フラッグフットボール」などです。これらのゲームは、小学校の低学年でも十分に楽しむことができます。また、高学年の段階でも「タスクゲーム」として活用できるでしょう。

体育の授業でのバスケットボールやサッカーでは5分間のゲームで0対0で終わってしまうことも少なくありませんが、フラッグフットボールでは、頻繁に成功体験が得られ、多くの得点が取れます。人数に制限を加えたり、攻撃に有利なようにコート幅を広げたりすれば、子どもたちが立てた作戦が頻繁に成功します。しかも、チームで立てた作戦に基づいて1人ひとりが役割行動を実行することになるので、能力の低い者や女の子もみんなが等しくゲームに参加することができます。ゲームに参加する人数を少なくすれば、ゲームでの1人ひとりの役割は一層重要度を増し、また作戦が成功する可能性も高くなります。アウトナンバーにしてオフェンスに有利な条件を設定すれば、ますます成功する可能性が高くなります。このような意味で、フラッグフットボールでは、本当の意味で「集団的達成の喜び」を味わうことができます。多くの子どもたちは、授業後の感想文で「試合には負けたけど、自分たちの立てた作戦が成功したので楽しかった」と語っています。みんなで計画し、みんな協力して、苦勞の末にみんな成功し、喜びを共有する「集団的達成」の経験は、今日の学校で最も強く求められていることです。

心と体を一体化できる

学習指導要領体育科の目標の冒頭に「心と体を一体としてとらえ」と表記されているように、運動学習は本来「知・徳・体」を統合した全人的活動です。しかし、そのことはあくまでも可能性であって、そのことを確実に実現するには、効果的な教材と方法を適用する必要があります。その点で、フラッグフットボールは、知的な作戦づくり、チーム内の役割行動や協力、巧みな身体能力が求められる教材です。換言すれば、フラッグフットボールは「頭と手足」、「知性と感性」、「思考と行動」を意図的に統合することが求められるスポーツです。特に、他のスポーツに比べて知的な活動がきわめて重要な役割を果たす運動であり、フラッグフットボールには他のスポーツにはみられない独自の教材価値があるのです。